

公立病院改革プランの概要

団 体 名		飛騨市					
プ ラ ン の 名 称		飛騨市民病院改革プラン					
策 定 日		平成 21年 3月 19日					
対 象 期 間		平成 21年度 ~ 平成 23年度					
病 院 の 現 状	病 院 名	国民健康保険 飛騨市民病院					
	所 在 地	岐阜県飛騨市神岡町東町725番地					
	病 床 数	91床 (一般58床 療養33床)					
	診 療 科 目	内科、外科、眼科、整形外科、小児科、耳鼻咽喉科、脳神経外科、皮膚科、泌尿器科、婦人科、心臓血管外科					
公立病院として今後果たすべき役割(概要) (注)詳細は別紙添付		二次医療(地域医療)体制の充実 救急医療の存続 各年代に対応した診療体制の確立 健康保持・予防医療の提供 在宅医療の充実					
一般会計における経費負担の考え方(繰出基準の概要) (注)詳細は別紙添付		「能率的な経営を行ってもなおその経営に伴う収入のみをもって充てることが客観的に困難であると認められる経費」の趣旨を重く受け止め、安易に飛騨市の負担に頼らず、収支改善の努力をする。 病院経営の自立・継続を前提とした基準について検討(病院の不採算要因等を十分に分析し、繰出基準額、地方交付税の算定基準、類似団体における繰出基準等を参考)する。					
経 営 効 率 化 に 係 る 計 画	財務に係る数値目標(主なもの)	19年度実績	20年度	21年度	22年度	23年度	備考
	経常収支比率	99.7	85.7	88.6	94.3	100.2	
	職員給与費比率	66.8	71.6	72.9	66.7	61.6	
	病床利用率	59.6	73.0	80.2	83.5	88.0	
上記目標数値設定の考え方		平成19年度に常勤医師が半減したため収益が低下した。 医師の招聘に向け努力するとともに、 病床利用率を向上することにより、収益の改善を見込む。 (経常黒字化の目標年度: 23年度)					

				団体名 (病院名)	飛騨市 (国民健康保険 飛騨市民病 院)		
公立病院としての医療機能に係る 数値目標(主なもの)		19年度実績	20年度	21年度	22年度	23年度	備考
1日平均患者数 外来		259	250	260	270	280	
1日平均患者数 入院一般		59	34	36	38	39	
1日平均患者数 入院重急性		0	6	8	8	9	
1日平均患者数 入院療養		0	26	29	29	30	
経営効率化に係る計画	数値目標達成に向けての具体的な取組及び実施時期	民間の経営手法の導入	部門別原価計算の導入、部門別収益目標の設定 H22 バランススコアカードの活用 H22				
		事業規模・形態の見直し	地方公営企業法の全部適用に向けて検討				
		経費削減・抑制対策	在庫管理の徹底 H22 給食部門の全部委託化 H21 医事業務派遣を廃止し、直接雇用へ H21				
		収入増加・確保対策	病床利用率の向上 H21 診療の質の向上 H22				
		その他	電子カルテシステムをH21年度に導入し、病院情報のデータ化を進め、多様な情報を分析することにより、経営分析を行い改革を進める。				
各年度の収支計画		別紙のとおり					
その他の特記事項	病床利用率の状況	17年度	72.70%	18年度	67.60%	19年度	59.60%
	病床利用率の状況を踏まえた病床数等の抜本見直し、施設の増改築計画の状況等	一般病床58床、医療療養病床33床は、当院の医療圏では過剰病床ではない。当面は、現病床数を維持する。					

再編・ネットワーク化に係る計画	二次医療圏内の公立病院等配置の現況	岐阜県 飛騨医療圏の当院の地域では、競合する医療機関がないため再編は検討していない。高山赤十字病院、久美愛厚生病院とは、救急医療や高度医療、医師の派遣等で連携を強化する。		
	都道府県医療計画等における今後の方向性	未定		
	再編・ネットワーク化計画の概要及び当該病院における対応計画の概要 (注) 1 詳細は別紙添付 2 具体的な計画が未定の場合は、検討・協議の方向性、検討・協議体制、検討・協議のスケジュール、結論を取りまとめる時期を明記すること。	<時期>	<内容> 検討を要しない 高山赤十字病院や久美愛厚生病院等が当院の運営を行う場合には再編の検討を要するが、そのような状況ではない。	
経営形態見直しに係る計画	経営形態の現況 (該当箇所にて <input checked="" type="checkbox"/> を記入)	<input checked="" type="checkbox"/> 公営企業法財務適用	<input type="checkbox"/> 公営企業法全部適用	<input type="checkbox"/> 地方独立行政法人
	経営形態の見直し(検討)の方向性 (該当箇所にて <input checked="" type="checkbox"/> を記入、検討中の場合は複数可)	<input type="checkbox"/> 指定管理者制度	<input type="checkbox"/> 一部事務組合・広域連合	
	経営形態見直し計画の概要 (注) 1 詳細は別紙添付 2 具体的な計画が未定の場合は、検討・協議の方向性、検討・協議体制、検討・協議のスケジュール、結論を取りまとめる時期を明記すること。	<input checked="" type="checkbox"/> 公営企業法全部適用	<input type="checkbox"/> 民間譲渡	<input type="checkbox"/> 診療所化
		<時期> 平成23年度	<内容> 公営企業法全部適用に向けて検討	
点検・評価・公表等	点検・評価・公表等の体制 (委員会等を設置する場合その概要)	評価の客観性を確保するため、市民・有識者等で構成する「病院経営改革推進委員会」(仮称)において、点検・評価を実施する。		
	点検・評価の時期(毎年 月頃等)	計画には記載していないが、毎年 2月頃		
その他特記事項				

(別紙)

団体名 (病院名)	飛騨市 (国民健康保険 飛騨市民病院)
--------------	------------------------

1. 収支計画 (収益的収支)

(単位:百万円、%)

区分		年度					
		18年度(実績)	19年度(実績)	20年度(見込)	21年度	22年度	23年度
収	1. 医 業 収 益 a	1,332	1,140	1,134	1,184	1,295	1,402
	(1) 料 金 収 入	1,223	1,064	1,056	1,103	1,214	1,321
	(2) そ の 他	109	76	78	81	81	81
	うち他会計負担金	16	16	16	15	15	15
	2. 医 業 外 収 益	73	173	104	137	145	145
	(1) 他会計負担金・補助金	63	165	99	134	140	140
	(2) 国 (県) 補 助 金	0	0	0	0	0	0
	(3) そ の 他	10	8	5	3	5	5
	経 常 収 益 (A)	1,405	1,313	1,238	1,321	1,440	1,547
	入	1. 医 業 費 用 b	1339	1274	1420	1466	1503
(1) 職 員 給 与 費 c		778	761	813	863	863	863
(2) 材 料 費		264	219	234	230	260	267
(3) 経 費		196	186	242	220	227	231
(4) 減 価 償 却 費		93	101	116	133	133	133
(5) そ の 他		8	7	15	20	20	20
2. 医 業 外 費 用		50	43	24	25	24	30
(1) 支 払 利 息		16	17	16	17	20	25
(2) そ の 他		34	26	8	8	4	5
経 常 費 用 (B)		1389	1317	1444	1491	1527	1544
経 常 損 益 (A) - (B) (C)		16	-4	-206	-170	-87	3
特別損益	1. 特 別 利 益 (D)	0	0	0	0	0	0
	2. 特 別 損 失 (E)	0	0	0	0	0	0
	特別損益(D) - (E) (F)	0	0	0	0	0	0
純 損 益 (C) + (F)		16	-4	-206	-170	-87	3
累 積 欠 損 金 (G)		17	13	-193	-363	-450	-447
不良債務	流 動 資 産 (ア)	1486	1658	1429	1306	1200	1200
	流 動 負 債 (イ)	79	243	240	240	240	240
	うち一時借入金	0	0	0	0	0	0
	翌年度繰越財源(ウ)	0	0	0	0	0	0
	当年度同意等債で未借入 又は未発行の額 (エ)	0	0	0	0	0	0
	差引 不 良 債 務 (オ) {(イ)-(エ)} - {(ア)-(ウ)}	1,407	1,415	1,189	1,066	960	960
単 年 度 資 金 不 足 額 ()		2	8	226	123	106	0
経 常 収 支 比 率 $\frac{(A)}{(B)} \times 100$		101.2	99.7	85.7	88.6	94.3	100.2
不 良 債 務 比 率 $\frac{(オ)}{a} \times 100$		-105.6	-124.1	-104.9	-90.1	-74.1	-68.5
医 業 収 支 比 率 $\frac{a}{b} \times 100$		99.6	89.5	79.9	80.7	86.2	92.6
職 員 給 与 費 対 医 業 収 益 比 率 $\frac{(c)}{(a)} \times 100$		58.4	66.8	71.6	72.9	66.7	61.6
地方財政法施行令第19条第1項 により算定した資金の不足額 (H)		0	0	0	0	0	0
地方財政法上の資金不足の割合 $\frac{(H)}{a} \times 100$		0	0	0	0	0	0
地方公共団体の財政の健全化に関する法律上の 資金不足比率							
病 床 利 用 率		67.6	59.6	73	80.2	83.5	88

() N年度における単年度資金不足額については、次の算式により算出すること。

「N年度 単年度資金不足額」= (「N年度の不良債務額」- 「N-1年度の不良債務額」)

・不良債務額が負の数となる場合(不良債務が発生しない場合)においても負の数で上記単年度資金不足額を算出すること

例)「22年度単年度資金不足額 30百万円」= (「22年度不良債務額 20百万円」- 「21年度不良債務額10百万円」)

団体名 (病院名)	飛騨市 (国民健康保険 飛騨市民病院)
--------------	------------------------

2. 収支計画(資本的収支)

(単位:百万円、%)

年度		18年度(実績)	19年度(実績)	20年度(見込)	21年度	22年度	23年度
区分	18年度						
	19年度						
収 入	1. 企業債	100		100	150	350	
	2. 他会計出資金						
	3. 他会計負担金	16	13	23	34	40	40
	4. 他会計借入金						
	5. 他会計補助金			250			
	6. 国(県)補助金						
	7. その他		2	0			
	収入計(a)	116	15	373	184	390	40
	うち翌年度へ繰り越される 支出の財源充当額(b)						
	前年度許可債で当年度借入分(c)						
純計(a) - ((b) + (c)) (A)	116	15	373	184	390	40	
支 出	1. 建設改良費	249	127	496	235	400	80
	2. 企業債償還金	37	38	39	60	65	65
	3. 他会計長期借入金返還金						
	4. その他						
支出計(B)	286	165	535	295	465	145	
差引不足額(B) - (A) (C)	170	150	162	111	75	105	
補 て ん 財 源	1. 損益勘定留保資金	170	150	162	111	75	105
	2. 利益剰余金処分量						
	3. 繰越工事資金						
	4. その他						
計(D)	170	150	162	111	75	105	
補てん財源不足額(C) - (D) (E)	0	0	0	0	0	0	
当年度同意等債で未借入 又は未発行の額(F)							
実質財源不足額(E) - (F)	0	0	0	0	0	0	

1. 複数の病院を有する事業にあっては、合計表のほか、別途、病院ごとの計画を作成すること。
2. 金額の単位は適宜変更することも可能。(例)千円単位。

3. 一般会計等からの繰入金の見通し

(単位:千円)

	18年度(実績)	19年度(実績)	20年度(見込)	21年度	22年度	23年度
収益的収支	(0)	(70,846)	(0)	(0)	(0)	(0)
	78,409	180,958	114,930	149,712	155,000	155,000
資本的収支	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)
	15,625	13,209	23,326	33,789	40,000	40,000
合計	(0)	(70,846)	(0)	(0)	(0)	(0)
	94,034	194,167	138,256	183,501	195,000	195,000

(注)

- 1 ()内はうち基準外繰入金額を記入すること。
- 2 「基準外繰入金」とは、「地方公営企業繰入金について」(総務省自治財政局長通知)に基づき他会計から公営企業会計へ繰り入れられる繰入金以外の繰入金をいうものであること。